

海外派遣研修報告（スウェーデンコース）

洲本市五色健康福祉総合センター 友納 和也

11月10日（日）～16日（土）までの6日間、「福祉先進国」として有名な北欧スウェーデンへ研修に行かせていただきました。ストックホルム、ウプサラ、ハニンゲ各都市の高齢者施設等を視察しました。

スウェーデンの街並みは、まるで物語の世界のようで、どの景色も見とれるばかりでした。日本とは違い、ヨーロッパの方は古い物をとても大事に使うので、昔ながらの煉瓦造りの建物等が現在も当時の面影を残していました。

滞在中に5つの高齢者施設等を見学しましたが、築年数が20年近い施設もあり、かなり古い建物でしたが、前述したように綺麗に改修等がなされ、まるで新築のような趣でした。

ご存じのようにスウェーデンは「高負担・高福祉」の国で、日本とは180度考え方も制度も生活習慣等も違います。収入の30%を税金で納め、消費税は最高25%。国土は日本の約1.5倍で人口は940万人と日本の東北地方より少ないそうです。

高齢者ケアの基本は「在宅での生活」「徹底した自立支援」「自分のことは自分でする」ということがとても重要視されています。加えて、「個人の尊厳」をとても大切にしていることが各施設視察で身を持って感じました。

施設を利用又はお住まいの方に「ここに来て（居て）楽しいですか？」と質問すると、「楽しいのは当たり前でしょ。なぜなら私は自分の意思でここに来ているのだから。」ときっぱりと言われ、とても逞しさを感じました。

短い期間でしたが、「福祉先進国」であるスウェーデンの一部を垣間見ることができ、このような機会を与えていただいた事業団に心から感謝したいと思います。

新婚旅行以来13年ぶりの海外。飛行機が大嫌いな私には、かなり過酷な旅でしたが、そのつらさを打ち消すインパクトのあるとても充実した研修になりました。また、他の法人等や会社から参加していた方たちとも交流ができ、とても良い出会いにも恵まれました。

この研修は私にとっての財産であり、これから仕事をするうえで、良い影響を与えてくれると確信しています。ありがとうございました。「Tack sa mycket!」（スウェーデン語でありがとうの意味）

